



高総文祭へ初の「お成り」

「宍道湖の夕日がきれいでした。」と紀子さま

7月31日（火）



マーチングバンド・バトントワリング部門（県立浜山体育館）にご到着

7月31日（火）



美術・工芸部門（県立美術館）
生徒実行委員長が自らの作品を説明

8月1日（水）



青少年赤十字部門（県立青少年の家）

宍道湖に葦を再生させるための竹ポット作り。説明を受け、作成中の竹ポットを手にとりご覧になりました。

これまで皇室の御臨席がなかった全国高総文祭へ、初めて秋篠宮同妃両殿下と今年高校生になられた眞子内親王殿下がおいでになりました。

7月31日～8月1日の日程で、マーチングバンド・バトントワリング、美術・工芸、器楽・管弦楽、青少年赤十字の4部門のほか、今年3月に開館した古代出雲歴史博物館などを視察されました。各部門では、代表の教員と生徒実行委員長から説明を受けられ、送迎の多くの高校生たちとも気さくにお言葉を交わされました。

マーチングバンド・バトントワリング部門では出演を終えた参加者が会場から御出発なさる殿下に握手攻め。また、器楽・管弦楽部門では出演した中国の高校生たちに秋篠宮殿下が中国語で話しかけられ、歓声が沸く場面もありました。

